



みっちゃん号 (6)

第173号

発行日：平成30年6月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

(☎0952-29-2223)

診察室から ～ 脳の検査いろいろ ～ 院長 田口 明

脳内の病変を正確に診断するためにはさまざまな検査が必要です。代表的な例が「CT（エックス線を使った断層撮影検査）」で、短時間で脳内の病変の有無が分ります。しかし、エックス線が当てられない妊婦、幼児などには適用できず、検査時期や病変部位によっては病変が見えにくいことがあります。

「MRI（磁石を使った断層撮影検査）」も脳内、および脳血管病変の検出に有用です。被ばくしないうえ、画像が鮮明で病巣を三次元的に評価できるという利点の一方、時間がかかり、検査中に少しでも体が動いたりすると画像が見えにくくなるという欠点があります。また、体内に心臓ペースメーカーや金属の入っている方には適用できません。

ほかに、体内にカテーテルという細い管を入れて脳の血管の形を調べる「血管造影検査」、脳や神経の働きをみる脳波などの「電気生理学的検査」などもあります。

これらの中から患者さんの症状や病状経過に合わせて必要な検査を適宜選択、組み合わせて行います。検査結果はあくまでも現状評価であり、先々の出来事を予測できるわけではありません。

病気の早期発見には早期の検査が大切なのはもちろんです。しかし検査はあくまでも補助的なものであり、やはり症状の変化を随時観察しながらその時々で必要な検査を行い、診断していくことが大切と考えます。

平成30年度の佐賀市国保脳ドック健診 受付中

◆3大疾病をご存知ですか？

健康寿命をのばしましょう！！

- ① 悪性新生物（がん）
- ② 急性心筋梗塞
- ③ 脳卒中

①と②は人間ドックでも検査が出来ますが、
③の脳卒中は脳ドックでしか出来ません。

脳ドック健診で特に重要視しているのは、クモ膜下出血、脳動脈瘤、脳梗塞などの脳血管の病変です。

脳ドックを受けて脳の状態を知ることで身体だけでなく脳の健康についても興味をもっていただき、総合的な健康管理のきっかけにしていただければ幸いです。

◆脳ドックの健診内容は・・・？

〈健診項目〉

- ◆ 問診・診察
- ◆ 身体測定
- ◆ 血液検査
- ◆ 検尿検査
- ◆ 心電図検査
- ◆ 胸部、頸部レントゲン検査
- ◆ 眼底検査
- ◆ 頸部超音波エコー
- ◆ 頭部MRI MRA
- ◆ 結果説明



※詳しい結果説明は後日行います

ご希望の方はお早めにお申し込み下さい。

平成30年度 定員

40歳から69歳 160名

(5月現在 残り30名)

70歳から74歳 40名

(本年度は終了いたしました)

〈～申し込みから受診まで～〉

- (1) 仮予約：佐賀市役所に電話
- (2) 予約：当院へ電話し、受診日を決定
- (3) 報告：受診日を佐賀市役所に電話
- (4) 受診：予約日にご来院ください

佐賀市役所：0952-40-7270

福田脳神経外科：0952-29-2223

(脳ドック)：0952-27-9008

〈健診日〉 ◆ 月・火・水・金・土 (休み：木・日・祝日)

〈健診時間〉 ◆ 9：30～12：30

担当 K

宝塚 観劇 してきました

一幕 あかねさす紫の花
二幕 Santé!! (フランス語で「乾杯!!」の意)

～今回の見どころ (宝塚大好き! N より) ～

一幕は、飛鳥時代、中大兄皇子 (兄) と大海人皇子 (弟) の話を主軸に額田王 (一人の女性) を兄弟で取り合う愛憎劇です。号泣ポイントは、大海人皇子の妃 (額田王) を中大兄皇子が奪われ、弟がどんどん狂っていき最後尊敬していた兄に攻撃していくところです。二幕は、演者がワインや肉や野菜に扮し、主役 (トップ男役) がそれを色々食していく場面があります。みどころは、主役がいろんなワインを飲みすぎて酔っばらって「博多弁」を言うセリフが可愛いです。



人生で初めての宝塚歌劇を博多座にて観劇しました。テレビでしか見たことのない舞台やキャストさん達を見ることが出来、感動しました。キラキラ輝いたり大きな羽がついた豪華な衣装やセット、すばらしい歌声、しなやかな動きに終始うっとりでした。演者はもちろんのこと、その他の音響や美術スタッフ等の深く細やかな所まで配慮された最高のパフォーマンスを見て、プロのすごさを感じました。貴重な体験を与えて頂き、ありがとうございました。

N. M.

今回初めて宝塚観劇に行ってきました。男役、女役の方々はとても美しく、迫力のある物語、ダンスに魅了されました。

衣装やセットの豪華さに驚き、役者の皆さんに感激しました。あっという間に時間が過ぎ貴重な体験ができました。

Y. K.



今回も人気があったようで、満員御礼でした(^^♪

患者さまのご意見（駐車場編）

「身体障害者用の駐車スペースがないのであったらいいなあと思いました。」というご意見（広報誌169号H30年2月号掲載）は、ご家族様付き添い前提のお答えでした。ご自身で運転されて来て、身体障害者用の駐車スペースが欲しいと感じておられていた事に対してのお答えができておりませんでした。



<お答え>

現状ではスペースを設ける事が難しいです。
停めにくい時はお声かけ下さい。車から電話をかけてもらっても結構です。ご相談下さい。

忘れ物のお知らせ



茶色のキーケースについたカギ

H29年12月21日
AM7:50頃
第二駐車場で拾得



ピンクキーホルダー付きのカギ

H30年1月30日
PM4:00頃
外来の待合室で拾得



心当たりのある方は、受付窓口までお声かけ下さい。

患者さまの忘れ物の保管期間を3ヶ月としています。

保管期間を過ぎますと処分致します。お帰りの際は忘れ物がない様、ご確認をお願いいたします。

みなさん、これからの季節、
食中毒に気を付けて下さい！
来月は、“食中毒について”を掲載していきます。

